

目次

■ 巻頭言	佐賀 朝	2
■ 論文	長尾明日香 植民地期インドにおける都市参政権のはじまりとイギリス議会改革 (1832年)	3
	中谷 良 13世紀後半のナポリ王国における封建領主層の台頭 ——カピタナータ地域の紛争に着目して——	18
	大山大樹 グループワークにおける書く行為の協働的生成 ——フランス語初級クラスの相互行為分析から——	31
	山上紀子 オディロン・ルドンの作品における有色人種の表象 ——《出現》(1883)を中心に——	42
■ 研究ノート	全 ウンフィ 「朝鮮」はいかにして「私たちの問題」となったか ——1970年代後半以後の宇治市における日本人支援者の形成——	54
	鈴木文子, 池上知子 異性愛者は同性愛者をどのようにみているか ——社会的アイデンティティ理論と帰属理論の観点から——	68
■ 研究展望	佐伯(片倉)綾那 12世紀コンスタンティノープルの女性による慈善行為 ——アンナ・コムネナを手がかりに——	81
	進藤雄三 死と死別の社会学	88
■ 特集	釜山大学校韓国民族文化研究所・UCRCの共同研究プロジェクトを終えて 佐賀 朝	96
■ 海外レポート	石川 優 ジョグジャカルタでの研究報告と視察 ——マンガ文化とその受容——	100
■ 学会レポート	上柿智生 故米田治泰氏コレクションについて	103
■ ニュース		105
投稿規定		113
編集後記		114
執筆者一覧		115

表紙の写真は、インドネシア・ジョグジャカルタの王宮前の広場付近で撮影したものである。1756年に建造された王宮は市街の中心部に位置し、伝統的な王宮文化を今に伝えるとともに、市民の生活空間の一部でもある。過去と現在が交差する、古都ジョグジャカルタの都市風景である。
文：石川 優